

伝統の二戦に両校ナイン奮闘

都城泉ヶ丘高校対西高校野球定期戦

都城泉ヶ丘高校と都城西高校の硬式野球定期戦と各部の交流会が5月1日、市営球場周辺で開催されました。都城泉ヶ丘高校の卒業生でもある池田市長が「スポーツを通して生き抜く力、人間力を養ってほしい」とあいさつし、選手らを激励。昭和41年から続く伝統の一戦に、両高ナインを応援しようとする生徒や保護者らが来場し、スタンド席から大きな声援で試合を盛り上げていました。また、終了後には、各部活動の交流会も行われ、生徒らが日頃の成果を發揮し、交流を深めていました。



元気なニジマスつかまえたよ

ニジマスのつかみ取り

関之尾緑の村プールで5月3日、幼児から小学2年生までを対象にニジマスのつかみ取りが行われました。定員100人を上回る盛況ぶり。子どもらは、歓声と水しぶきを上げ、勢いよく泳ぎ回るニジマスを追いかけました。また、イベントの終了後には、地元ボランティアガイド「関之尾むかえびと」による紙芝居も行われました。安藤丞之助くん（大王小2年）は「元気なニジマスをつかまえた。大好きなおじいちゃんに食べさせたい」と初夏のさわやかな一日を満喫していました。



もつときれいになったらいいな

水辺の環境教室

身近な水環境に関する学習会が5月8日、庄内川で開催されました。都城保健所や市の職員から観察や調査の方法について説明を受けた後、実際に水の透明度や臭いの観察、水辺の生物の調査を実施。参加した明和小学校の児童らは、浅瀬の石の裏にいるカゲロウやカワゲラの幼虫などを網や素手で採取し、大きさや種類を熱心に調べていました。木佐貫伊織くん（6年）は、「川の水は見た目はきれいだけど臭いがありました。もつときれいになったらいいな」と話していました。



地域の力で学生を応援

おはよう目覚まし朝ごはん

南九州大学地域応援団「かたらん花」が主催する「おはよう目覚まし朝ごはん」が5月18日、南九州大学都城キャンパス周辺で行われました。同大学の学生や地域の人約80人が、周辺道路などの清掃活動を実施。その後、手作りのがねや卵かけごはん、石釜で焼いたピザなどを食べ、交流を深めました。参加した赤石朋さん（3年）は、「一昨年に続いて2回目の参加です。清掃した後みんなで作ったピザは格別でした」とおいしい朝ごはんを舌鼓を打ちながら、交流を楽しんでいました。





勝利を目指し一致団結

県民スポーツ祭出場選手結団式

県民スポーツ祭都城選手団の結団式が5月19日、中央公民館で行われました。スポーツ競技を通して交流を深める同イベントに、本市から36競技、約1,200人の選手らが参加。バレーボールや山岳、グラウンドゴルフなどの競技に出場する選手らが、大会へ向けての意気込みを高めています。選手団を代表してバレーボール競技に出場する上徳貴博さん（山之口町富吉）が「市の栄光と名誉のため精いっぱい競技することをここに誓います」と、声高らかに力強く宣言しました。



競技力と安全意識を高めて二石二鳥

交通安全ゲートボール大会

交通安全意識の向上と事故防止を目的に、高齢者交通安全競技大会（グラウンドゴルフ大会）が5月22日、高城運動公園多目的広場で開催されました。市内各地区から約300人が参加。競技に先立ち、周磨誠さん（志比田町）が「競技で親睦を図るとともに、日頃から交通ルールを守り、事故の加害者、被害者にならないよう注意します」と宣誓しました。真剣なまなざしで競技に望んだ選手らは、途中に設けられた横断歩道で、係員から安全確認の指導を受け、交通安全意識を新たにしていきました。



きれいな歯で輝く笑顔

お口の健康フェスティバル

歯と口の健康について理解を深め、大切さを知ってもらおうと、お口の健康フェスティバルが6月7日・8日、ウエルネス交流プラザで開催されました。会場では、虫歯予防を呼びかけるポスターの展示のほか、フッ素塗布、石こうを使った手形づくりなどが行われ、多くの家族連れでにぎわいました。歯科医師の仕事の体験をした原田静倫さん（下長飯町・5歳）は、「歯医者さんの格好ができて楽しかった。虫歯にならないよう歯磨きをがんばります」と歯磨きの大切さを学んでいました。



早乙女たちの豊作祈願

東霧島神社お田植え祭り

五穀豊穡を祈願するお田植え祭りが6月7日、東霧島神社で行われました。20年以上前に復活した、地域に伝わる伝統の神事に小学生ら20人が参加。「良い田な〜」の声に合わせて、法被姿の男の子らが力強く鍬入れや代かきを奉納した後、かすりの着物に赤いたすき掛けの早乙女姿に扮した女の子らが、古代の赤米の苗を慣れない手つきで丁寧に植えていました。平川咲和さん（高崎小5年）は「真つすが植えるのが難しかった。今度はおじいちゃんの田植えを手伝いたい」と話していました。



人の風景

smiling faces of miyakonojo

地域の絆を後世に

おかげ祭り実行委員会 実行委員長

やまじ おさむ
山路 修矛さん

都 城に夏の到来を告げるおかげ祭り。都城を熱く盛り上げるこの祭りで実行委員長を務めるのが、山路修矛さん（上水流町）です。

おかげ祭りは、日本に古くから伝わる伝統を取り入れた「本物」の祭りを創造し、後世に伝えようと平成5年に立ち上げられました。

以前は、福岡で働いていた山路さん。家業を継ぐため都城に戻り、知人の紹介で平成6年から祭りに加わりました。初めて参加した祭りの後、現在の振興会会長でもある川本翰治さんから、「この祭りは神輿宮入の儀を中心、本物の祭りに育てていく。そのために神輿を任せたい」とタスキを渡されました。仕事や環境の変化に、身も心も疲れていた山路さん。自分を必要としてくれたことに感動したことはもちろん、地元以外の参加者も受け入れる祭りの懐の深さに共感し、祭りを盛り上げていくことを決意しました。

それ以来、誰よりも大きな声を出し、礼儀作法にこだわるなど、真摯に取り組むことで、後世に伝える価値ある祭りに育てていきたいと奮闘しています。

ある年、宮入の儀で神輿を担ぎ



終えた後、観衆から「お疲れさま」ではなく「ありがとう」という言葉をかけられました。その言葉に込められた意味を感じて涙し、祭りに対する思いが一層強くなりました。その後、山路さんの思いと重なるように、祭りの規模も年々大きくなり、神輿の担ぎ手やおはやしなどの参加者は1,000人を超えるまでになりました。

「祭りを通して出会った多くの仲間たちに支えられ、今の自分がある。今後30年、40年と祭りが続くように後進をしっかりと育て、祭りに恩返しをしたい」と思いを話す山路さん。これからも全ての人や、ものに感謝するおかげさまの精神で、祭りと地域を強力に盛り上げます。

霧島七景



今回は、小林市から眺める夷守岳です。

■生駒高原から眺める夷守岳

眺める場所によって姿を変ええる霧島山。小林市内にも、たくさん絶景ポイントがありますが、「どこから眺める霧島山が一番好きですか」という問いに対する答えは、人それぞれ。

環境省の自然公園功労者環境大臣表彰を受けた、自然公園指導員の樋ノ口正光さん（小林市）は、同じ問いに「生駒高原から眺める夷守岳が一番美しい」と答えます。



生駒高原から眺める四季折々の夷守岳。上から、菜の花、アイランドポピー、コスモス。

■人々を引き付ける夷守岳

夷守岳の魅力は、何と言ってもその形の美しさ。特に生駒高原付近からの眺めは絶景で、「生駒富士」とも称されます。霧島連山の中でも小林のシンボルの存在で、地域住民からは「南山」と呼ばれ親しまれています。樋ノ口さんは、「霧島連山で一番形のきれいな山」とその魅力を語ります。

■四季折々の花々と夷守岳

生駒高原から望む夷守岳を背に、四季折々の花々も楽しむことができます。春には菜の花やアイランドポピーが一面を彩り、秋には約100万本のコスモスが高原を埋め尽くし、訪れる人の目を楽しませてくれます。

◎問い合わせ

小林市企画政策課

☎ 0984-2310456

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの元気をいただきます

1日の野菜摂取量は350g

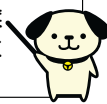
旬のトウモロコシを使ったチヂミ

※1人分187kcal、塩分0.7g

トウモロコシには、食物繊維が多く含まれていて、脂肪の吸収を抑え便秘の予防・改善のほか、疲労回復の効果があるビタミンBや老化防止に役立つビタミンEなども多く含まれます。



短時間で焼き上がるので、夜のうちに野菜などを切っておけば、手軽に楽しめる朝食にもなります。



●材料（6人分・約2枚分）

- | | | | |
|---|------------|-------------|---------|
| A | 豆腐…300g | 小麦粉…130g | 片栗粉…30g |
| | 卵…1個 | 玉ネギ…1/2個 | ニラ…3本 |
| B | トウモロコシ…50g | 塩…ひとつまみ | |
| | ポン酢…大さじ2 | コチュジャン…小さじ1 | |
| | ごま油…小さじ1/2 | ごま…少々 | |
| | 水…50cc | サラダ油…大さじ1 | |

●下準備

- 豆腐…水気を切って手でほぐす ニラ…小さく切る
玉ネギ…薄くスライスする Bを合わせておく

●作り方

- ①ボウルにAを全て入れて混ぜ合わせ、水を少しずつ足しながらさらに混ぜる
- ②フライパンにサラダ油を熱し、①を入れ両面に焼き色が付く程度に焼く
- ③焼いた②を食べやすい大きさに切り、皿に盛り付けBをかける

◎問い合わせ 健康課 ☎ 23-2765

ちょっと工夫

子どもには、付けだれの代わりにケチャップやマヨネーズを使うとお好み焼き風のおやつにもなります。

